

| 科目コード | 授業科目名 | 単位数・学期 | 受講年次 | 授業区分 | 担当教員名 |
|-------|-------|--------|------|------|---|
| 14033 | 言語と文化 | 2単位 後期 | 1~4 | 講義 | 仲原 穰 (非) 新城 和博 (非) 波平 八郎 (コーディネーター) |

■テーマ

言葉がものの考え方や文化をある程度規定することを理解する。また、文化的なことがらを言葉で表現する力を付ける。

■授業概要

「言語」は単なる表現・伝達的手段ではなく、手段を超えて考え方の枠組みを作るものとして捉えられている。「文化」もそのような言語との相互作用によって生みだされるものである。本講義は「現代文化」と「言語」との相互作用の関係を複数の教員が講義する。まずは沖縄語の概要を学び、文化の基層に言葉が根付いていることを理解する。次に現代沖縄のポピュラー文化の中にウチナーグチを見いだし、文化が言葉を通して継承されていることを理解する。

■到達目標

文化と言語の相互作用の関係を理解する。また、言語がバイアス (かたよった物の見方) を生みだすことを理解する。

■授業計画・方法

- (1) 履修ガイダンス
- (2) ウチナーグチ (沖縄語) (1) (仲原穰)
- (3) // (2)
- (4) // (3)
- (5) // (4)
- (6) // (5)
- (7) // (6) レポート1提出・前半授業のまとめ
- (8) 沖縄のポピュラー文化とことば (1) (新城和博)
- (9) // (2)
- (10) // (3)
- (11) // (4)
- (12) // (5)
- (13) // (6)
- (14) レポート2提出・後半授業のまとめ
- (15) 授業全体のまとめ (定期試験は実施しない)

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

各教員によりレポート等が課される。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点 (出席を含む50%)・レポート (50%) を総合的に判断する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献等

□教科書

なし。授業中に適宜プリント等を配布する。

□参考文献

各教員が適宜指示する。